

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	三田福祉ホーム	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人ともかわさき ・代表者名 理事長 鹿嶋 勝美 ・住所 川崎市川崎区渡田1-15-5	評価者	障害福祉課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

2. 事業実績

利用実績	定員10名／利用者9名		
収支実績	収入 利用料 2,811,057円 指定管理委託料 13,948,000円 雑収入等 138,099円 合計 16,897,156円	支出 人件費 12,021,481円 事務費 1,321,987円 事業費 3,324,618円 合計 16,668,086円	収支差額 229,070円
サービス向上の取組	平成26年度は、利用者2名に対し、本人の意思決定やライフスタイル等を尊重しながら、自分の住まう場所を自分で選択できるよう地域への移行を支援した。また、利用者への日々の声掛け、見守り、傾聴などの支援に丁寧に取り組むことで、日常生活の安定、就労継続に寄与した。これらサービスを実施するために、職員の勤務時間等を見直したほか、利用者の勤務先、相談支援センター等の関係機関とも綿密に連携している。		

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者が快適に生活できるように、個別性に配慮した支援を実施した。退去を希望する利用者に対しては、本人の希望や目標を聴取したうえで、利用者自身の選択を大切にしながら新たな住まいの場への移行を支援した。 ・利用者が遅い時間に仕事を終えて帰った際も職員とコミュニケーションを図れるよう、平成26年度から職員の勤務時間等を見直しており、利用者がストレス等を抱え込まないように配慮した支援体制を整えた点は評価できる。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・経費は概ね予算どおりに執行されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・会社訪問や関係機関とのカンファレンスに参加するなどして、利用者の内外の状況を把握するとともに、利用者の意見を真摯に受け止めることで、就労継続に向けた支援に役立っている。 ・平成26年度は多くの課題が生じたが、一人ひとりの利用者のニーズにあわせた支援がなされたほか、現状を分析しての改善が多々なされた。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>人員配置については、サービス管理責任者の有資格者を1名雇用しており、生活支援を実施するにあたり、必要な能力を有している者を適切に配置している。</li> <li>法人職員の全体研修などの機会を生かして職員の資質向上に努めているほか、必要に応じて専門家の力を借りるなど柔軟に対応している。</li> <li>避難口や非常灯の点検を随時行い、必要な備品の修繕を行った。また、消防署職員立会いのもと避難訓練を実施し、有事に備えて利用者が定期的に居室内を片づけるよう支援を行った。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>基本法令に基づき、消防用設備の保守点検等を実施。専門業務は外部に委託するなど、効果的な施設の管理運営を実施している。</li> <li>退去者の居室のリフォームや経年劣化の激しい箇所の修繕など、施設の適正な維持管理を行った。</li> <li>利用者が自室の掃除や整頓を習慣化できるよう日々促したほか、施設の樹木の伐採は職員、草取りは職員と利用者で行う、軽易な修繕は職員が行うなど、管理経費の縮減に努め、施設を衛生的に維持した。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 利用者との良好な関係が構築できるよう日々の支援を着実に実施したほか、課題が生じた際は丁寧に対応するとともに、職員の勤務時間を見直すなど、年間を通じてサービス向上に向けた取り組みが図られた点は評価できる。
- 入居者の健康、衛生状態、就労状況、人間関係、居住環境等について、きめ細やかな配慮をしながら、利用者が快適に生活できるように、個別性に配慮した支援を関係機関との連携のもと実施した。
- 所管課との連絡・連携を十分に図りながら、必要な人が公平に施設を利用できるよう入居審査会を適正に開催した。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 第三者評価の結果を踏まえ、管理人業務の明確化など、さらなる運営の改善につながるような方法を検討していくこと。
- 施設の老朽化が進んでいるため、定期的な点検を行い、軽易な修繕や備品の購入を計画的に行うなど、適切な維持管理に努めること。